



秋田喜代美

東京大学大学院教育学研究科研究科長・同教育学部部長 教授 東京大学大学院教育学研究科博士課程単位取得退学 博士（教育学）

東京大学教育学部助手、立教大学文学部助教授を経て1999年から東京大学勤務。専門は、学校教育学、授業研究、保育学。園や学校という制度的な場での子どもと教師、保護者の学びや発達の過程とその支援に関わる研究を行っている。教育再生実行会議委員、内閣府子ども子育て会議会長、文部科学省中央教育審議会教育課程部会委員、同教員養成部会委員、厚生労働省社会保障審議会委員、同児童部会長。世界授業研究学会（WALS）副会長、OECD ECECネットワーク常任理事を2012年から2019年まで務める。現在OECD E2030 教師のコンピテンスグループワーキング委員。前日本保育学会会長、元日本読書学会会長、日本教育心理学会常任理事、日本教育学会理事等。主な著書に、「学びの心理学」（左右社）、「学校教育と学習の心理学」（岩波書店）等や訳書として「教育のワールドクラス：21世紀の学校システムを創る」「OECD保育の質向上白書」等他州。